

自転車通行帯用側溝

おりんさん

自転車対策に最適な円型水路の新バージョン

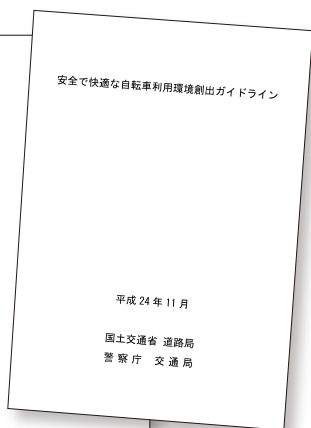
平成24年11月に発表された「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」によって、自転車に対して配慮した製品が求められています。従来型の問題点を解決した、円型水路（スーパー側溝）の新バージョンが登場しました。

【ガイドライン抜粋】

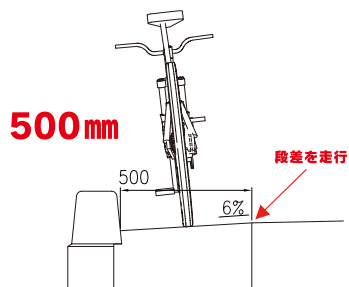
1.1.3 路面等

自転車道や車道端部の路面については、自転車の安全性を向上させるため、平坦性の確保、通行の妨げとなる段差や溝の解消に努め、滑りにくい構造とするものとする。なお、必要に応じて、側溝、街渠、集水ますやマンホールの蓋について、エプロン幅が狭く、自転車通行空間を広く確保できるものや平坦性の高いものへの置き換えや滑り止め加工等を行うものとする。（写真II-1~3参照）また、路面表示等を設置する場合、できる限り走行性能を妨げないよう留意するものとする。さらに、これらの機能を継続的に確保できるよう維持管理に努めるものとし、轍や側溝との舗装すりつけ等縦方向の段差等にも留意するものとする。

植栽等を設置する場合は、視認性及び自転車の走行性を妨げるものがないように樹種や配置を検討するとともに、樹木の成長に留意し適切な維持管理に努めるものとする。電柱等の占用物で、自転車、歩行者の通行に支障となる場合は、原則として民地等への移設もしくは無電柱化等を行うものとする。さらに、不法占用物件についても、撤去指導または除却を強化するものとする。

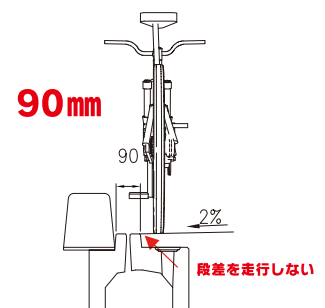


従来型のL型街渠



× 走行しにくい!

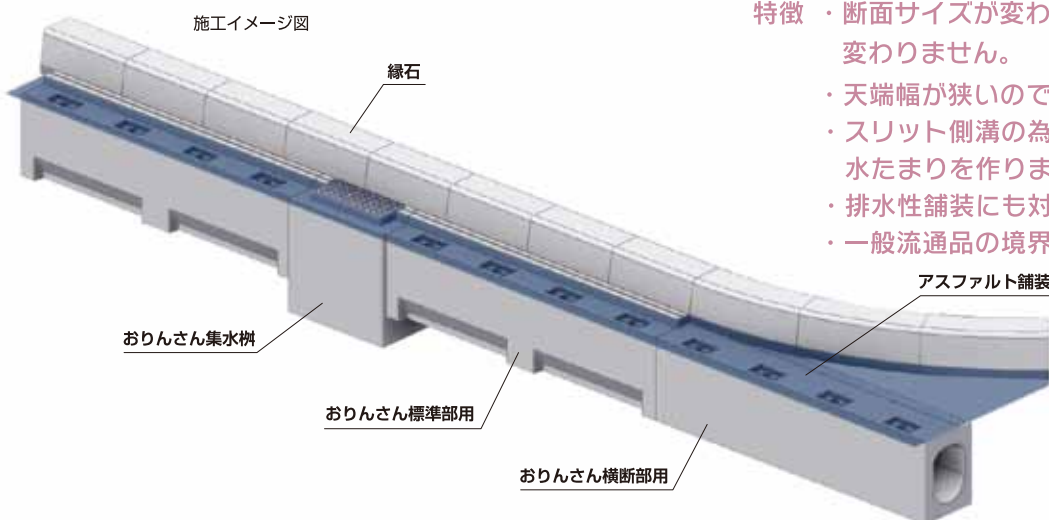
おりんさん



◎ 走行しやすい!

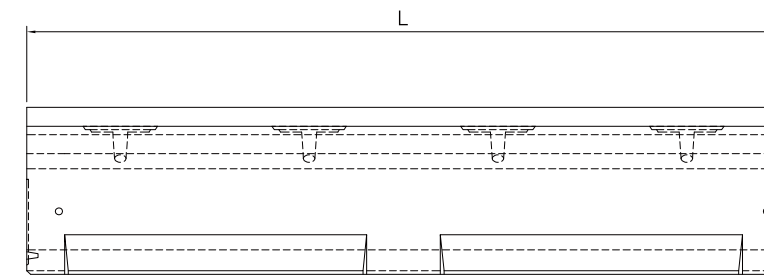
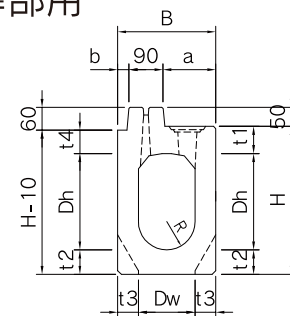
- 製品天端部が狭く（90mm）自転車が側溝に乗らない。
- 天端勾配が2%で自転車の通行にとっても安全。（従来型は6%が標準）
- 舗装との段差（すり付け）部分に自転車が乗らない。

- 特徴
- ・ 断面サイズが変わっても、天端部分の幅は変わりません。
 - ・ 天端幅が狭いので道路幅員の有効利用が可能です。
 - ・ スリット側溝の為、自転車走行部分に水たまりを作りません。
 - ・ 排水性舗装にも対応しています。
 - ・ 一般流通品の境界ブロックに対応可能です。



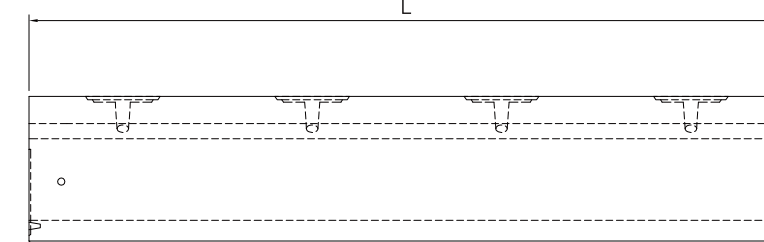
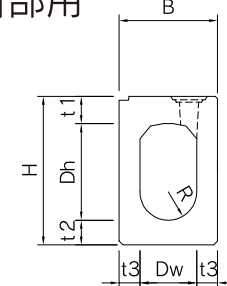
自転車通行帯用側溝 おりんさん

標準部用



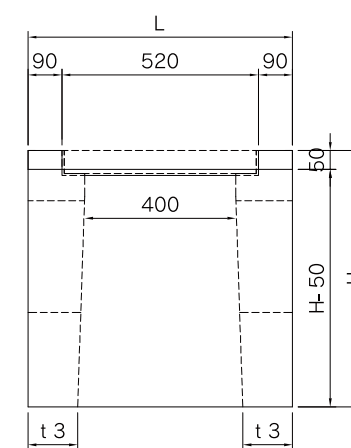
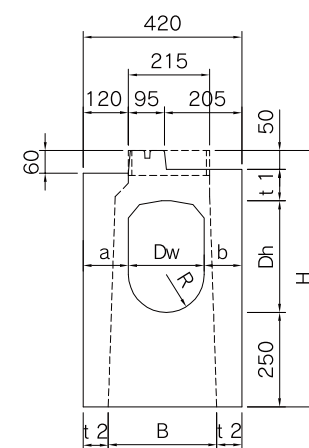
呼称	H	B	Dw	Dh	t1	t2	t3	t4	a	b	R	L	参考重量(kg)
150	392	210	110	255	72	65	50	62	90	30	50	1995	280
200	392	260	150	255	72	65	55	62	140	30	75	1995	317
250	443	320	200	295	83	65	60	73	165	65	100	1995	402
300	494	370	250	340	84	70	60	74	180	100	125	1995	479

横断部用



呼称	H	B	Dw	Dh	t1	t2	t3	R	L	参考重量(kg)
150	392	210	100	255	72	65	55	50	1995	275
200	392	260	150	255	72	65	55	75	1995	313
250	443	320	200	295	83	65	60	100	1995	416
300	494	370	250	340	84	70	60	125	1995	505

集水枘



呼称	H	B	Dw	Dh	t1	t2	t3	a	b	R	L	参考重量(kg)
150	627	284	100	255	72	68	133	150	170	50	700	235
200	627	284	150	255	72	68	133	150	120	75	700	226
250	678	287	200	295	83	67	132	120	100	100	700	235
300	724	290	250	340	84	65	130	85	85	125	700	240

形状・寸法は予告なく変更する場合があります。施工は、プレート連結になります。